

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	神田玲子 (かんだれいこ) 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 放射線防護情報統合センター
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	<p>以前はリスク関連の社会問題はテクノクラートの主導により解決されてきましたが、現在は様々な専門家の連携や異なるステークホルダー間での合意形成を必要とする場面が増えてきました。実際に私の専門領域である放射線分野では、放射線防護関連の4学会が連携して、安全・安心の社会づくりのために自分たちが何をすべきか議論をして、規制当局と対話する取組みを始めたところです。</p> <p>リスクの専門家集団である当学会は、設立当初より学際性や社会との密接なつながりといった特色を持っています。この特色を活かし、当学会が旗振り役として、さまざまな場面で異なる分野の専門家間との交流や行政との連携を先導し、社会問題の解決に向けた道筋をつけることが期待されていると感じています。こうした活動のお手伝いをして、当学会のプレゼンスの向上に貢献出来ればと思います、立候補させて頂きました。</p>
③ 本学会における 活動歴	約 25 年間の会員歴において研究論文発表やシンポジウムでの講演、論文査読を行いました。2012-2016 年 (2 期) はリスクマネージャ (RM) 委員会担当の理事として RM 認定や登録更新の手続きの改正や RM 事務局業務の整理等を行いました。2016-2018 年には財務担当理事として学会のお財布を預かりし、慢性化した赤字の改善に向けて、計画通りの予算執行を心がけました。
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	東京大学大学院理学系研究科動物学専攻博士課程修了後、住友金属工業バイオメディカル部研究員を経て、平成 4 年より放射線医学総合研究所で、放射線の生物学的リスクの定量化やリスク認知を研究しています。現在、放射線審議会や疾病・障害認定審査会の委員を務めています。

(書式2)【推薦者用】

①推薦する候補者名	神田 玲子氏
② 推薦者の 姓名と所属	村山武彦 東京工業大学環境・社会理工学院
③ 推薦理由 (400 字程度)	<p>現代の「リスク社会」においてリスクコミュニケーションの重要さと難しさを認識し、学術的活動を中心に行えるのは学際的性格をもつ日本リスク研究学会であるといっても過言ではないでしょう。神田玲子氏は、本学会のリスクマネージャ制度を推進し、リスクマネージャをさらに社会に浸透していくための仕組みや企画を学会理事として活躍されてきました。また、平成 28~30 年度においては、財務担当理事として学会の健全な運営に貢献されてきています。同氏が放射線リスクを通して学んできた数々の難しい現実を理解するからこそ、リスクコミュニケーション問題をサイエンスと社会との接点で対等な相互作用を構築していくには本学会として何を進めていくべきかを考えることのできる一人として、引き続き、理事としてこの問題に牽引していただきたいと考え、神田玲子氏を理事候補者として強く推薦いたします。</p>